

一、廢帝時代より工場ニハ過度官中ニ登々其

實　　智　　告　　指

圖リテハセ音勢前高麗モ爲事シハリサヘテハ
テハ江セモ地縄同一資本之深也。又計ア朱民鍾日根ハ財政事
シ甘羅也セハモ都ハ急大財ハオ羅羅ハ日根イ申同國有ヘ行狀セ
テニ等モシメニカシモ得ハ博殖セモハ王根ハ中ハ一工根ハ
ハ内工根ハ營國者セモテ乍羅江根ハ道リ那業モ體清ミ甲知モ營
工根モ營業之工根降ニ若ニシテ申同國者也。又計ア日根リ
恒ム資本家ハ乍羅ニ附ヘハ然ハ同一資本家ニシモ二工根也ハ三
不景氣ハ業廢也。其ニ資本家羅者ハ益々貞堅ニ出でシオミテ

監　　理　　者　　正　　直　　吉　　昌

△同一資本系統下工根ハ半　　明　　出　　異　　案

並納ハ計羅員ハ賛成^{新添}セテシテ又對新者ハ新羅一勞ニモ加給

新

三、判明セザル工場ハ調査部ヲ動カシ調査セシメル事

該件ハ滿場一致ニテ可決シタ

△紡績操短反対闘争ニ關スル件

紡　　織　　提　　案

說　　明　　者　　吉　　永　　司　　光

財界ノ不況ニ並行シテ

生産品ノ價格約上ゲ配當率ノ維持ノ爲メニ紡績資本家ハ財界
ノ調和、生産調節ノ爲メダト言ツテ操業ノ短縮ヲ行ツタ本年一
月ノ第一回ニ於イテ一割七歩ノ操短ヲ決行シ更ニ四月ニ一割ノ
操短ヲ強行シ續イテ九月ニ七步二厘ノ操短ノ強擴張ヲ行ツタ
コレ實ニ三割四分四厘ノ操短ダ

其ノ結果紡績労働者ノ生活ハ全ノ困窮、不安ノドン底ニタ、
キツケラレツ、アルノダ

コトニ最近ニ於ケル各所ノ首切り値下ゲ、強制退職、休日増